資料５

令和７年度 神戸市立図書館
事 業 評 価

令和８年８月
神戸市立図書館協議会

令和８年８月

令和７年度の取組項目と具体的取組及び評価項目

■当資料の記載内容について

・令和７年度事業計画に基づき設定した「取組項目」ごとに、実際に取り組んだ内容のうち主要なものをピックアップして記載している。

・取組項目ごとに【図書館の自己評価】を記載している。

＜評価の基準＞

Ａ：計画どおり実施し、一定の成果があった

Ｂ：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った

Ｃ：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

取組項目	具体的取組
１資料の充実	
(1)学び直しのための資料収集	・生涯学習関連の図書に加えて、リスキリングやキャリア形成に関する図書を購入。多様な学習ニーズへの対応を図った。 ・生成 AI など最新 IT 技術に関する図書を積極的に購入した。
(2)郷土資料の収集	・流通にのらない自費出版や古書に関しても情報を集め、積極的な収集に努めた。 ＜収集資料の一例＞『第一回神戸料飲観光祭プログラム』『一王山・十善寺周辺あれこれ』『平野のまちの物語』 ・NHK 朝の連続テレビ小説「ばけばけ」にちなみ、神戸にも住んだことのある小泉八雲・セツに関する新しい資料を購入し、展示コーナーを設けた。＜収集資料の一例＞『セツと八雲』ほか
(3)電子書籍の充実	・R7 年度末時点のコンテンツ数　5,187 点（R6 年度末　5,028 点）※前年比 103% ・児童書の読み放題パック７種 285 コンテンツ購入（「講談社おはなしパック」「角川まんが学習シリーズ日本の歴史パック」「角川まんが学習シリーズ世界の歴史パック」「集英社　みらい文庫ノベライズパック」「Gakken 自然科学図鑑パック」「講談社　青い鳥文庫＆火の鳥文庫」「KADOKAWA ライトノベルパック」）を購入した。 貸出者数　21,014 人（R6 年度　20,836 人）　※前年比 101% 貸出冊数　36,536 冊（R6 年度　36,267 冊）　※前年比 101% 閲覧数　373,593 回（R6 年度　106,963 回）　※前年比 349% 貸出者数、貸出冊数は横ばい状態だが、閲覧数の大幅な増加は、昨年７月からの小中学校への ID、PW の配布の影響が大きい。

・子供向けパスファインダーを電子図書館上で公開（R7 年 8 月　24 点公開）

・「ふるさと神戸コレクション」に引札（明治～大正期神戸市内商店の広告ちらし）11 点を追加

(4)新館整備のための資料収集

・新北図書館、新三宮図書館の開館に向け、「新館用」として資料を収集（中央図書館で保管）

・新北図書館は約 12 万冊、新三宮図書館は約 11 万冊での開館に向けて、R8 年度も精力的に収集を行う
R7 年度末の蔵書冊数＋新館用受入冊数は、
北図書館　116,804 冊、三宮図書館 79,911 冊　※寄贈図書含む
＜新刊用図書受入冊数＞
R7 年度　北図書館　2,502 冊、三宮図書館　6,269 冊
R6 年度　北図書館 12,570 冊
R5 年度　北図書館　6,076 冊

・新館用資料には、比較的発行年の新しいものの中から、図書館として長く所蔵すべき資料や、児童書については長く読み継がれている名作を中心に選書

・新三宮図書館は、神戸の魅力を様々な角度から伝える特色あるテーマ棚を設置予定。テーマごとにチームを設け選書・収集にあたっている。

【図書館の自己評価】

〇R7 年度も引き続き、市民の多様な要望に応えるとともに、幅広く利用されることを視野に置き、一点ごとに内容を精査しながら選書を行った。地域資料について、現在の利用はもちろん未来の利用も見据えて、時を逃さず集めることに努めた。社会の関心事に合わせて、収蔵する貴重資料に新規資料を追加購入して展示を行なった。また古書に関しても、業務の中で深めた知識を活かし、展示に使えるビジュアル的な資料や地域の調査に役立つ資料を購入した。

〇新館整備の資料収集については、両館とも年間購入冊数が 5,000 冊以上（新館・既存館用を含む）となり、計画的な資料収集を進めている。

〇電子書籍については、誰もが利用しやすい読書環境の整備を目指し、読み上げ機能付きコンテンツを前提として、幅広い世代に親しまれる資料の収集に取り組んだ。児童向け「読み放題パック」の充実をはかり、市内小中学校の児童・生徒の利用の促進に努めた。電子図書館の利用については、貸出者数および冊数ともに微増しており、更に魅力的なコンテンツを揃えて利用を促進したい。

〇また、この「読み放題パック」は複数人の同時アクセスが可能なコンテンツとなっており、これを利用し、児童の読書推進につなげるため、同年 7 月より教育委員会と連携。主に小・中学校及び特別支援課に対して、GIGA 端末で使える ID の配布を行い、案内チラシの作成や広報を行った。12 月には市内の私学のうち 3 校（神戸海星女子学院・松蔭・親和のいずれも中学校）も参加。年度末には、学校の先生からの助言などもいただき、R8 年度の選書では学校園での利活用につながるようなパックを導入している。

評　価
A

【図書館協議会の評価・意見】
・図書館の質を担保していく上で重要である資料を着実に収集していることは評価できる。
・ある意味伸び悩んできた子どもの電子書籍利用も、コンテンツの微増にもかかわらず、ID,PW 配布という環境整備により閲覧件数を大幅に増加させることができたことは評価できる。

・資料の充実に大変尽力しており、A に値する。

・学校の先生からの助言を生かすなど、関連部署の情報提供と協働が素晴らしい。
実際に利用数が増えるのには、利用者が慣れる時間が必要と思うので、長い目で評価が必要と思われる。これまで通り収集方針に自信をもって進めていただきたい。
利用者としても図書館ホームページから電子図書を使いやすくなったと実感している。

・新三宮図書館の「神戸の魅力を伝えるテーマ棚」は、市民にとって、まちの魅力を再発見することにつながり、市外からの来訪者にとっては、神戸を意外な視点から知ることが出来て、まちに出かけるきっかけになるのではないか。期待している。

・リスキリングやキャリア形成に関する図書、生成 AI に関する図書など、最近の動向を踏まえた選書は大変良いと思う。
　郷土資料の収集については、意義のある活動であると思うので、利用状況や周知への取り組みなどを知りたい。
　電子書籍の充実については、貸出者数および冊数ともに微増とのことであるが、児童・生徒の利用と一般の利用者とを分けて考えたい。一般利用者も増えているのかどうか、貸出傾向の分析などはあるのかを踏まえた上で評価したい。

評　価
A

取組項目	具体的取組
２読書推進	
(1)学習機会の提供、課題解決支援 （一般向け） イベント開催数　291 回 参加人数　11,491 人 展示の回数　735 回 ・まちの保健室（東灘）4/17 ほか計６回　計 39 人 　病院に行くほどではない少し気になる健康問題について、専門家に相談するイベント ・講演会「サブカル的に見る、戦前神戸の息の痕」（中央）10/25　64 人 ・講演会「東灘区の学術にふれよう」（東灘）10/29 ほか全４回　計 66 人 ・講演会「なぜ灘五郷は日本一の酒どころになったのか？」（須磨）1/24　27 人 ・講演会「源氏物語　第 12 帖須磨」（須磨）11/9　25 人 ・講演会「健康ライブラリー「フレイル予防について」」（名谷）2/1　6 人 ・講演会「終活セミナー「終活、していますか？ ～遺言などについて学ぶ～」」（垂水）10/29　22 人 ・大人のためのおはなし会（東灘、垂水）ともに年３回、計 104 人 ・大人のための朗読会（灘、須磨、名谷）各館にて開催　計 10 回　計 201 人 ・大人の工作教室（東灘、灘、須磨、北神、垂水、西）各館にて開催　計 39 人	

・読書会（北）　4/16 ほか全 11 回　計 110 人
・「シン・ナガタ読書会」（新長田）4/13 ほか全 4 回　計 15 人

【神戸「本」の文化振興プロジェクト】
・誰もが本屋を目指せる「みんなの本屋講座」全 17 回
　（中央・オンライン開催）9/13～1/10　受講者数 150 名
・ロビー展示「ひょうごをあじわうことば展」（中央）1/27～2/15
・「スマホを閉じて文庫を開こう！」（垂水）3/14～3/31

(2)読書推進のための関係機関との連携
＜行政機関＞
イベント開催数　111 回
参加人数　6,948 人
展示の回数　209 回

■　区地域協働課
・兵庫区みらい会議発「みんなの青空図書館」（兵庫）　11/22、11/23　約 1,000 人
　本とともに豊かな時間を過ごし、本を通して交流する青空図書館イベント
・資料展示「くまのライブラリー」（兵庫）毎月
　図書館が選書を行った児童書を熊野ふれあいのまちづくり協議会へ団体貸出。
・「TARUMI BRIDGE SESSION」（垂水）　※新館オープニングイベント　10/16　40 人
　垂水を拠点に地域貢献活動をしている企業・団体によるパネルディスカッション及び情報交換会

■　文化財課、埋蔵文化財センター、文化交流課
・秋の古民家で朗読ライブ（北）11/2　21 人
　兵庫県指定重要有形文化財である内田家住宅において、ボランティアグループ「朗読シアターKOBE」が実施する朗読劇
・ロビー展示（埋蔵文化財センター連携展示）「本でまなぶ考古学」（中央）4/25～5/25
・お宝だいぼうけん！15（西）7/23～8/31　計 106 人

■　デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）
・KIITO マルシェワークショップ「本のコーティング教室」（三宮）5/31　22 人

■　こども本の森　神戸
・本のもりもり秋まつり（三宮）10/19　102 人
・長田区　今月の主人公（新長田）5/1～5/31
・資料展示「本の森神戸スタッフが選んだ大切な人に贈りたい本」（西）3/3～3/31

■　神戸ゆかりの美術館
・「荒井良二展」の連携展示（中央、東灘、灘、兵庫、須磨、名谷、北、北神）
　10/11～12/21 までの期間、順次各館で実施
　「荒井良二展」に合わせたおはなし会や工作会も各館で実施（三宮、兵庫、須磨、名谷、垂水）
　計 52 人

■　バンドー神戸青少年科学館
・「空の下で“りか本”ピクニック」（三宮）　10/26　60 人
・科学館ワークショップ「てらしてはっけんひかりとかげのせかい」（三宮）7/31　20 人

■　ユースステーション垂水
・「ユースステーション垂水サマーフェスティバル 2025」（垂水）8/16　81 人
　出張図書館としてクイズのブースを出展
・ユースステーション垂水 クリスマスフェスティバル「オリジナル紙芝居」（垂水）12/13 50 人 ほか

■　神戸市立須磨体育館
・あつまれ神戸っ子！スポーツチャレンジ＆須磨図書館イベント（須磨）11/24　19 人

■　神戸市立森林植物園、KOBE Rail&Trail ほか
・森林植物園で本と植物のフェスタ（兵庫、北、北神、名谷）6/1　351 人
・こどもフェス 2025（北、北神）8/17　484 人
　「スライムであそぼう！」（北）121 人、「マイうちわを作ろう！」（北神）226 人

■　神戸市立王子動物園
・資料展示「OJIZOO 特設掲示板展示」（灘）年間通して実施

■　こうべ動物共生センター、市健康局環境衛生課ほか
・わんちゃん読書会（須磨）　2/7　15 人
　読書介助犬 2 頭への参加児童による読み聞かせや図書館職員によるミニおはなし会等
　アメリカ発祥の読書支援・アニマルセラピープログラムで、子どもの読書意欲や自己肯定感の向上、精神的成長を目的とする。

■　国土交通省（六甲砂防事務所）
・土砂災害防止パネル展（東灘）６月　阪神大水害時の様子を伝える写真パネル展示

■　福祉局（高齢福祉課）
・認知症啓発展示（全館）９月　認知症への理解を深めてもらうことを目的に関連図書を展示・貸出

■　福祉局（障害福祉課）
・「手話の日」に合わせて「手話を知っていますか」をテーマに関連資料を展示（中央）9/20～9/30
・手話啓発展示（須磨）　9/17～9/30

■　健康局（保健所）
・自殺予防展示（全館）　３月・９月
　心の健康に関する図書に加え、リラックスして楽しめるような様々な図書を展示・貸出
・歯と口の健康展示（全館）　６月　歯と口の健康に関する児童書・一般図書の展示・貸出

■　消防局（垂水消防署）
・なりきり消防隊（垂水）11/15　約 400 人

■　神戸地方法務局
・人権擁護課連携展示「第 77 回人権週間」（三宮）12/2～12/10　ほか

＜大学＞
イベント開催数　13 回
参加人数　365 人
展示の回数　5 回

■　神戸大学
・震災関連行事「「おかえり、記憶の街」記憶の街ワークショップ in 六甲道」（灘）1/16・1/17　計 121 人
・星空教室（灘）8/27　13 人、12/13　5 人

■　神戸女子大学
・書籍館喫茶「本と私と珈琲」（新長田）11/9　14 人
　学生提供のコーヒーと豆知識、図書館員のブックトークを楽しむ催し。
・一箱図書館長（須磨）　7/1～7/31　ほか

■　流通科学大学
・Libro presents.垂水図書館ライブラリーツアー（垂水）　12/21　11 人

■　神戸学院大学
・「絵本をつくってみよう“何に見えるかな…？”で始まる親子の物語づくり」（西）　9/27　18 人
・「子どもサイエンス Lab.～夏休み自由研究～」（西）8/22　25 人

■　京都大学
・講演会「『かくも甘き果実』で小泉八雲に語りかける女性たち」（北・北神）10/26　計 35 人

■　専修大学
・講演会「あの日、海のむこうから本（ともだち）がきた」（北・北神）8/30　計 31 人

＜企業＞
イベント開催数　21 回
参加人数　1,022 人
展示の回数　21 回

■　日本政策金融公庫
・ビジネス講演会「起業を形に 2026」（中央）2/27　35 人

■　BL 出版
・BL 出版社創業 50 周年記念展示
　「わがまちの出版社おめでとう 50 周年ファイナル@兵庫図書館」（兵庫）8/2～8/31　100 冊

■　神戸新聞社
・親子新聞教室（東灘、須磨、西）各館 1 回ずつ（計 3 回）計 48 人

■　橋の科学館ほか
・クイズラリー「知らなかった！ たるみのアレコレ」（垂水）7/19～8/31　計 14 人
・科学実験講座「知らなかった！ 橋のアレコレ」（垂水）7/21　18 人

■　大丸須磨店
・ライブペインティング「パタント絵でパンダを描きます！」（名谷）2/11　18 人
・参加型展示「みらいの図書館　みらいの名谷」（名谷）3/15～5/6　計 146 人
・資料展示「名谷図書館が動物園になっちゃった！」（名谷）2/8～2/18　135 冊　ほか

【神戸「本」の文化振興プロジェクト】
・神戸の出版社紹介コーナーの設置（中央）
　各社の紹介パネルや出版物を展示（神戸新聞総合出版センター、神戸大学出版会、神戸史学会、かけはし出版）
・市内 22 書店・5 企業との連携企画「本とのひとときフェア」展示
・KOBE BOOK FAIR & MARKET2026 の開催（中央）3/14～3/15
　出展者数 115 ブース　来場者数約 7,000 人　（販売実績）売上冊数　約 9,900 冊（約 1,350 万円）

＜地域団体・NPO＞
イベント開催数　104 回
参加人数　8,287 人
展示の回数　93 回

■　神戸定住外国人支援センター
・駒ヶ林小学校グローバル読書の会（新長田）７回　計 127 人
・絵本の読み聞かせ（新長田）９回　計 66 人

■　神戸・図書館ネットワーク
・読書会の共同開催（中央）２回　計 23 人（名谷）11 回　計 62 人

■　ボランティアグループ「影絵劇団白つめくさ」
・影絵の世界（灘）５回　計 75 人

■　楽喜（ラッキー）落語研究会
・気軽に落語会/気軽に落語と講談会（灘）４回　計 72 人

■　こどもワクワク食堂
・こどもワクワク食堂での読み聞かせ（兵庫）　11回　計167人

■　ベルスト鈴蘭台・北区役所管理組合
・えほんで防災（北神）　10/19　76人

■　神戸まつり中央区協賛会
・「ふれあいカーニバル2025」（三宮）5/17　109人
東遊園地におけるイベントブースでの読み聞かせ、本の展示、図書館紹介など

■　神戸須磨シーワールド
・連携講演会「スマシーで生まれた！イルカ・ペンギンの繁殖のお話」（須磨）12/21　26人

■　助産所ポスチャー
・通所型産後ケア施設での出張展示・団体貸出（ポスチャー文庫）（須磨）　13回　計153冊

■　NPO法人フクロウの夢
・新聞紙でエコバック作り（灘）11/28　11人（垂水）7/19・10/10　計20人

■　神戸空襲を記録する会
・ワークショップ「新聞記者になろう」行財政局主催の戦災資料展、兵庫図書館戦災記念資料室の見学、戦争体験者へのインタビュー等を通して戦争と平和について考える
（中央）8/9　47人（兵庫）8/24　33人

(3)新しい工夫を取り入れた企画
・オープニングイベント「＃は新垂水図書館」（垂水）9/30～10/31　計228人
館内にフォトスポットを4か所設置、「#新垂水図書館」をつけて投稿したSNS画面の提示で、オリジナルステッカーをプレゼント
・資料展示ファストライブラリー「あなたの代わりに選びました」（垂水）3/1～3/10　80冊
「バスを待つ間にサッと借りられる」をコンセプトに、スタッフおすすめの本をテーマごとに中身が見えないような形式で貸出
・参加型展示「芋づる式読書のススメ」（名谷）10/22～11/10　111冊
「芋づる式読書MAP」および紹介された本の展示。自分だけの読書MAPを作って、館内で展示・共有
・書道アートイベント「紀元前の私の名前」（兵庫）8/3　８人
自分の名前に使われている現代漢字の一文字に対応する古代文字を本で調べ、和紙に書く書道体験イベント
・動く！アニメ・ワークショップ（須磨）8/2　36人
須磨区在住の絵本作家とのコラボ企画「おどろき板」を使ったアニメーションの工作ほか
・電子図書館やK-libネットの体験会
ふらっと体験　スマホ図書館（灘）11/3　12人
ネット予約・電子図書館相談カウンター（須磨）5/27～5/30ほか　計７人

てのひら図書館～スマホを使った図書館講座～（垂水）4/29　３人

(4)情報発信力の強化

＜Web ツールの活用＞

・神戸市公式イベントサイト「おでかけ KOBE」を活用し、各館のイベント情報を発信

・X の活用

定期的な神戸関連本紹介、行事の告知及び報告を投稿

＜行事内容・方法の工夫＞

・なぞときイベント「注文の多い図書館」（中央）10/24～11/7　計 38 人

各フロアにクイズを散りばめる館内周遊型のイベントとすることで、利用者が普段足を運ばないフロアに誘導する工夫を取り入れた。

＜館外での図書館案内＞

・出前図書館見学（垂水）6/19　99 人

小学校に出向き、パワーポイントを利用した図書館見学、利用案内、大型えほんの読み聞かせ、Q&A 等を実施

【図書館の自己評価】

〇各館工夫を凝らし、多様な連携先と様々な事業を実施。興味関心を広げ、図書館や読書に誘うきっかけづくりに努めた。

〇兵庫図書館では区と連携し青空図書館イベントを開催。多くの人が本や図書館に触れ、交流する機会となった。

〇垂水図書館では新館開館に合わせたイベントを実施。館内をめぐるツアーやボードゲームイベント、終活講座等を開催し好評であった。

〇須磨図書館では初めての試みとして「わんちゃん読書会」を開催。新たな手法を取り入れ、子供たちに新しい体験を提供した。

〇1979 年から行っている北図書館の読書会は 500 回を迎え、500 回の課題図書を記録した記念冊子を作成。入れ替わりはあるが新しい参加者も増えている。

〇神戸「本」の文化振興プロジェクトとして、書店や出版社等と連携した企画を複数実施。書店開業支援のためのオンライン講座では想定以上の受講者があり好評であった。様々な企画を通して、プロジェクトの認知も広がっている。

評　価

A

【図書館協議会の評価・意見】
・各図書館が地域特性などを生かした独自のイベントを開催する努力は評価できる。
・他機関との連携も数多くなされ、各機関のもつ強みを図書に反映させることは、「利用者の来館を待つ図書館」から「新たな利用者を開発する図書館」へ変わる努力として評価できる。
・これらの事業には相当の労力を要していると思われるので、アウトカム指標を明確にして、さらに注力すべきところと見直するべきところを PDCA サイクルで検討してもいいかもしれない。まずは読書推進としての事業なので、アウトカムが各イベント参加者数なのか、それに関連する館の利用者数やそれに関連する書籍の貸し出し数なのかなど検討されてはいかがでしょうか。

・多様なイベントを創意工夫しながら実施しており、A に値する。

・各館が担当地域の特性を生かし、多様なイベントを協働している。図書館へと続く道を広げると共に、協働した機関のポテンシャルをうまく引き出していることに感心した。
新たな手法の取入れに積極的で、図書館で提供できる多様な楽しみを試みている。特に館内周遊型のイベントについてよい工夫である。
北図書館の 500 回記念誌は、市民との協働で長く継続している意義は大きい。
神戸「本」の文化振興プロジェクトは、本で人を元気にしたい、元気になりたいと考える人たちが緩やかに集まっていて、とても居心地がよさそうに感じている。

・前年よりも全体的にイベント開催数および参加人数が増えて、本に接する機会も増え、読書推進につながると評価できる。館外で行う青空図書館や、書店との連携企画は、官民の垣根を越えた有意義な取り組みである。

・KOBE BOOK FAIR & MARKET2026 は実際に参加してみたが、イベントも出展者も多様で来場者も多く、大変盛り上がっているようで良かった。新垂水図書館のイベントも楽しそうなものが多く、全体的に工夫された、興味を引く企画が多く見られるように感じた。

評　価
A

取組項目	具体的取組
３施設整備とデジタル化の推進	
(1)新館整備事業（垂水図書館、北図書館、三宮図書館） ・垂水図書館（R７年９月 30 日開館）移転開館を完了した。 開館後は順調に利用が伸び、11 月６日には来館者数 10 万人を突破した。 ３月時点においても 1 日の平均来館者 2,179 人（前年同月比 189.7%）と高い水準を維持した。 ・北図書館（R９年 10 月頃開館予定） 館内レイアウトや内装デザイン等、設計を進めた。開館時期を決定し公表した。 ・三宮図書館（R10 年２月頃開館予定） 館内レイアウトや内装デザイン等、設計を進めた。開館時期を決定し公表した。	

(2)サービスポイントの検討
・垂水図書館の返却ポストが、新館開館に伴い閉館時間中いつでも使用できるようになったことに伴い、垂水駅前に設置していた館外返却ポストを廃止した。
・山陽電鉄舞子公園駅に館外返却ポストを設置した（11 月 19 日供用開始）

(3)自動化機器の利用促進
・自動貸出機利用促進イベントの実施
自動貸出機のレシート提示でオリジナルしおりやグッズをプレゼント
・使ってみよう！セルフ予約棚＆自動貸出機（名谷）10/22～11/10　計 211 人
・オープニング特別しおり配布（垂水）9/30～10/10　計 978 人
・貸出パック（西）3/17～3/31　計 42 人
対象年齢ごとの３つのテーマに沿った貸出パックを用意して、地図から置き場所を見つけ、自動貸出機で借りてもらうことを目的とした自動貸出機利活用イベント
【参考】
・自動貸出機利用率 50.8%（R6 年度 46.0%）
・自動返却機利用率 49.1%（R6 年度 44.7%）※東灘、灘、北神、名谷、垂水、西に設置
※R6 年度は、東灘、灘、北神、名谷、西のみ

(4)デジタル化の推進
・郷土新聞マイクロフィルムのデジタル化を進めた。明治期「神戸新報」「神戸日報」、昭和期「兵庫新聞」など

【図書館の自己評価】
〇移転開館した垂水図書館については、順調に運営している。

〇今後移転開館予定の館の整備については、それぞれの進捗状況に応じ順調に進めている。

〇図書館外返却ポストを設置し、サービスの充実に努めた。

〇自動化機器を便利に使用してもらえるよう、楽しめるイベントを工夫して行った。利用率は少しずつ上がっている。

〇貴重資料のデジタル化とインターネット上での公開を行い、資料の保存と利活用の両立を進めた。古文書はこれまで利用が限定的であった資料も多かったが、今後の利用増加と、それに伴う研究の発展が見込まれる。

〇マイクロフィルムについては、2025 年の製造終了にともない、当館のみが所蔵する資料に関してはデジタル化による媒体変換を行って資料閲覧の存続をはかった。

評　価
A

【図書館協議会の評価・意見】
・数年にわたる整備事業を着実に進行させている点は評価できる。
・利用促進イベント等により自動化機器の利用が設置館では微増ながら増加している点は評価できる。将来的には人にしかできないサービスに人的資源を集中させることになるので、利用者の抵抗なくできる行動として定着させていく仕掛け作りを今後も期待したい。
・とりわけ貴重資料のデジタル化は必須なので、着実なデジタル化は評価できる。さらなる推進を期待したい。
・施設整備を順次行っており、A に値する。

・市民の必要としていること複眼的に目を配り、出来ることは即実施するという積極的なサービス精神が見られる。合わせて関係機関との連携も進み、対象者に寄り添ったさらなるサービスの可能性を感られる。

・一般の利用者からは、神戸市歴史公文書館と図書館の違いが分かりづらいので、効果的な活用方法などの周知が必要ではないか。とりわけ歴史的な分野では、両館のより一層の連携が望ましい。

・垂水図書館の来館者数は、とても素晴らしい結果が出ている。返却ポストや自動貸出機などの設備も、利用促進とセットでよく検討されていると感じた。
　資料のデジタル化と公開はこれからますます求められる分野だと思うので、引き続き充実を図ってほしい。こちらも利用状況や周知への取り組みなどを知りたい。

評　価
A

取組項目	具体的取組
４誰もが使いやすいサービス	
(1)利用しやすい環境の整備 ・エントランスのリニューアルを実施し、カーペットの貼り替えや棚の移動による導線の確保、BDS ゲートの新調などを行うことで、利用しやすい環境をつくった。（中央） ・カウンター周辺の「貸出・返却」表示を見やすい位置に追加し、子ども向けのひらがな表示も追加（東灘） ・仁川広域市コーナーの掲示物に韓国語の表記を追加。（新長田） ・図書館利用に関する Q&A を作成し、2 階と 3 階に配置。（西） ・館内貸出用の老眼鏡の数と度数のバリエーションを増やした。（垂水） ・おはなし会の看板を新しく作成。 入口前に設置し、おはなし会に参加しやすくなるよう環境を整えた。（北神）	
(2)利用支援 ・バリアフリー映画会 （東灘）2/14　5 人　（灘）年間通して計 8 回　計 133 人　（西）11/3　15 人　（須磨）10/18　39 人 （中央）3/19・3/20　計 43 人 ・日本語学校からの自由見学を含めた図書館カード作成の案内等を実施（中央）2/12（神戸 KR 学院）	

(3)関係機関との連携によるサービスの提供
・つくって、さわる。こども点字体験会（中央） 3/14　 17 人（点字図書館）
・手話講座（須磨） 12/14 17 人（神戸ろうあ協会）
・出前手話講座（北神） 8/17 13 人（兵庫県聴覚障害者協会事務局）
・友生支援学校高等部の図書館見学（中央） 2/3 大人 13 人 子供 26 人（友生支援学校高等部）
図書館の利用を含め、1 階フロアでの簡単な利用方法の案内やインタビューを実施

【図書館の自己評価】
〇エントランスのリニューアルでは、新たに設置したデジタルサイネージによる案内で、館内の機能をわかりやすく伝えられるようになった。館内各所で行っている展示をサイネージで PR することで、他フロアに足を運んでもらうきっかけを作った。また、大きなポスター架に代わり壁面を活用、ロビー展示用に移動式のパネルを採用したことから、エントランスからの見通しが良くなった。（中央）
※リニューアルでは、児童の展示棚部分も温かみのある木材に改修。改修で空いたスペースにこども新聞等を見やすく配置し、利用促進を図った。また、親子で利用できるよう子育て雑誌、子育て支援に関するチラシを、児童コーナー内に配架した。

〇『読書バリアフリー法』関連イベントとして、R7 年度も点字図書館と連携を行った。特に児童向けイベントとして、点字体験会を行い、普段身の回りにある点字についての説明を含め、関連資料の展示、点字しおり作りを通じて、点字にふれてもらう機会を提供することができた。（中央）

〇R7 年度はバリアフリー映画会の上映機会を増やした。

〇各館でサイン等を随時見直し、わかりやすく使いやすい図書館となるよう努めている。

評　価
A

【図書館協議会の評価・意見】
・初めての利用者でも抵抗なく入館し、利用するための基本的な環境整備として、またとりわけ障害者、年少者、高齢者、外国人の視点に立った環境整備として評価できる。
・他機関との連携は、だれでもが図書館を利用できるように、ソフト、ハード面のバリアをなくす意味から評価できる。

・誰もが使いやすくなるよう工夫しているものの、「誰」についての詳細な分析は行えていないため、B とする。

・書架配置を見直す、エントランスに可動のスツールを置く、バギーが邪魔にならないスパースや動線など、目に見えて利用しやすくなった。
図書館利用に不便を感じている人の立場に立つ工夫がよくわかる。
　貴重資料のデジタル化と公開が進められていることが、古文書利用の自由度が広がってよかった。
　マイクロフィルムのデジタル化は手間がかかると拝察するが、貴重資料の保存とともに利用者にとって使いやすくなり魅力的である。

・読書のバリアフリー化は、障がい者に限らず、誰もが利用しやすい図書館の視点で進めていただきたい。各館の立地や、利用者の傾向に応じた環境の整備は評価できる。

・中央図書館のエントランスのリニューアルは、多くの人にとって分かりやすく、利用への心理的な障壁が軽減されていると感じる。これからの各館の整備にも期待したい。
　日本語学校からの見学・図書館カード作成の案内などは、大変重要な取り組みだと思う。日本語を勉強している人にとって図書館は有用な施設であると思うので、ぜひ気軽に利用できるよう、同様の取り組みを拡充してもらいたい。

評　価
A

取組項目	具体的取組

５子どもサービス

(1)生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための取り組み

＜乳幼児と保護者向け＞

イベント開催数　425 回

参加人数　7,059 人

・年齢別おひざの上のおはなし会（中央）8 月・11 月の第 5 土曜　①0～1 歳　計 36 人 ②2 歳　計 41 人

・「もっとクリスマスを楽しもう！おはなし会とワクワクあそび」（新長田）12/14　19 人

・ベビーライブラリー（名谷）1/18　26 人

外部講師による「愛着を深める 0～3 歳向け絵本とふれあい遊び」の実施

・もう一度！お名前プレゼント♪（垂水）4/26　15 人

親子の手形をスタンプした色紙に、子どもの名前であいうえお作文を作成。

＜児童向け＞

イベント開催数　1,027 回

参加人数　21,453 人

展示 456 回

・神戸キワニスこども文庫おはなし会（中央）12/7　35 人

・なぞときイベント「図書館でなぞとき大冒険」（中央）10/24～11/7　計 70 人

・図書館クイズラリー（中央）4/23～5/11　計 83 人

・工作会「マイ図書館バッグを作ろう！」（中央）5/10　27 人

・としょかんでハント！（東灘）4/22～5/18　計 302 人

館内に隠された文字を見つけて言葉をつくる。（配布枚数 413 枚）

・TOMARIGI MARKET at JR 灘駅前広場（灘）10/25　70 人

出前おはなし会（工作付きおはなし会、電子図書館の PR 含む）の実施

・クイズラリー「レッツゴー！図書館探検隊」（灘）4/15～5/18　計 412 人

・六甲道駅前広場リニューアルプラン ミニ社会実験

「出張図書館 at JR 六甲道南駅前広場」（灘）3/14　おはなし会：250 人　工作：49 人

出張図書館にて読み聞かせやミニ工作も実施。

・アニマシオン（灘）２回　計 25 人　（新長田）４回　計 46 人

・図書館本屋さん（三宮）4/27　5 人（「来店者」46 人）

図書館の本棚から、お店に並べたい本を選び、自分だけの本屋さんを開店するイベント。お店に並べた本は来館者が手に取って読んだり、借りたりできる。

・ぬいぐるみのおとまり会（三宮、北、北神、須磨、名谷、垂水）各館にて開催　計７回　計 108 人

・オリジナル絵本をつくろう！（三宮）5/11　16 人

・読んでみてみて！ハッピーバッグ（北）4/19～5/11　計 30 人
　図書館員おすすめの絵本の福袋
・おかばひろば祭り（北神）8/30　約 500 人
　夏祭りと称した屋台などを出店。図書館はおはなし会を開催。
・としょかんなぞとき「ほんくすからの挑戦状！」（北神）4/23～5/11　計 36 人
　未就学児～小学生対象としたクイズに答える謎解きイベント。
・本の福袋（北神）1/4～1/15　計 100 セット貸出
・夏休みクイズラリー　むかしばなしでタイムスリップ（新長田）7/19～8/31
　（一部は 8/13～8/31）計 112 人
・読み聞かせと工作会「へい おまち！ナガタずしかいてん！」（新長田）5/18　7 人
・クイズラリー「スマカフェ」（須磨）10/15～11/9　計 37 人
　食べ物にまつわるクイズを出題。調べ学習コーナーで食べ物や飲食店の本を展示。
・「どれくらいしってる？図書館クイズラリー」（名谷）4/23～5/12　計 106 人
　図書館の使い方クイズをクイズラリー形式で実施。
・みんなでかるた会！（名谷）1/10　19 人
・「この本よんでみて！」（名谷）4/23～5/12　30 冊
　図書館司書がおすすめする児童書と POP を展示
・クイズラリー「知らなかった！ たるみのアレコレ」（垂水）7/19～8/31　計 14 人
　橋の科学館、五色塚古墳、図書館のクイズを解いていくと専用台紙の絵柄が完成する。
・まほうつかい・たるるんからの挑戦（垂水）4/22～5/11　計 55 人
・もっと！まほうつかい・たるるんからの挑戦（垂水）5/13～6/15　計 176 人
・一日図書館員「チャレンジ☆ライブラリアン」（西）4/29、5/11　計７人

＜小・中学生への調べ学習支援＞
イベント開催数　7 回
参加人数　105 人
展示 9 回

・プログラミング体験講座～ロボット「こくり」はうごくかな？～（東灘）11/1　7 人
・調べ学習応援展示「おきしお文庫の本を使って防災について調べてみよう」（灘）7/19～8/31　50 冊
・調べ学習「昭和 100 年！昔のくらしを学び、新聞紙でエコバッグを作ろう！」（北）7/27　17 人
・垂水のいきもの博士になろう（垂水）6/7　8 人
・子どもサイエンス Lab.～夏休み自由研究～（西）8/22　25 人

＜YA 向け＞
イベント開催数　10 回
参加人数　110 人
展示 217 回

・参加型展示「アイマスクイラストコンテスト」（須磨）12/2～12/28　計 10 人
　描いてもらったオリジナルのアイマスクを展示。最優秀賞、審査員特別賞 2 作品をしおりにして配布。
・参加型展示「うろ覚えイラストコンテスト」（須磨）7/18～8/31、2/1～2/28　計 18 人
・ボードゲーム交流会「ボドゲフェス 2025」（垂水）11/2　60 人

・にしとぶ討論会（西）12/20　9 人
　西図書館図書部（にしとぶ）の部員による「西図書館をもっともっとよくするワークショップ」の開催。
・にしとぶ POP 展示（西）12/2～12/14、12/16～12/28　計 10 人

＜学校連携＞
展示 4 回

・有野中学校連携コラボ（北神）7/1～7/31　11 人　20 冊
　図書委員の生徒と連携した本の POP 展示
・須佐野中学校図書委員会とのコラボ展示「おすすめ本の紹介」（兵庫）　5/15～5/31　4 冊
・パネル展示「翻訳の世界」（北・北神）2/4～2/15　20 冊
　長田高校文芸部と北神図書館・北図書館による連携企画。生徒が翻訳した詩のパネルをブックラウンジに展示・館内に翻訳絵本と関連図書を展示。
・「本しか勝たん。3」（垂水）2/20～3/22　20 冊
　学校内で実施した本の帯コンテストの優秀作品 5 作品を関連図書とともに展示。流泉書房、伊川谷北高校・神戸学園都市高校との 3 者リレー展示。
・布引中学校吹奏楽部三宮図書館演奏会（三宮）　9/13　39 人

(2)新しい工夫を取り入れた企画
・「えほん de かるた」（中央）11/1　11 人
　絵本の表紙をかるたの札にして、かるた大会を行うイベント
・キッズヨガとおはなし会（三宮）　7/24　10 人
・かみしばいのおはなし会（垂水）8/9　13 人
・「寺子屋たるるん」（垂水）3/22　11 人
　子どもの貧困対策事業のひとつとして実施。自宅での学習が難しい子どもに対して学習の場や居場所を提供。図書館は読み聞かせや簡単なゲームを提供。
・こども編集部　図書館部（垂水）2/1　5 人
　「KOBE◆KATSU」に向けた活動の一環として、こども編集部図書館部の活動を受入。YA 向けの書架づくり、本の紹介の作成など。
・親子で楽しむ料理教室　第 26 回「おはなしたべちゃえ！」（西）1/10　10 人
　絵本に出てくる食べものを実際に作って食べるイベント

(3)ボランティア等との連携
・夏休み特別おはなし会（中央）7/29　計 3 回　計 52 人
・こうべ子ども文庫連絡会、神戸・図書館ネットワークと、図書館との交流会（中央）
・かものこおはなし勉強会との共催によるストーリーテリングの勉強会（原則月 1 回、中央および地域館）
・「読み聞かせびと養成講座」修了生が希望する活動先ボランティアグループへの仲介（中央）

(4)学校園との連携（保育園、こども園含む）
・R7 年度学校図書館司書新規採用研修（中央）4/17　15 人
・R7 年度学校図書館司書全体研修（中央）4/22　149 人
・ボランティアスキルアップ講座

「2025 年のこどもの本　近刊紹介・展示会」（中央）3/12　16 人（+見学者７人）
・神戸市立小中学校、特別支援学校への GIGA 端末利用による神戸市電子図書館の『読み放題パック』利用開始（7 月～）及び神戸市内私立中学校への同サービス利用の開始（12 月～・私学 3 校参加）

【図書館の自己評価】

〇図書館単独で行うイベント以外にも、様々な連携先やボランティアとの協働による、多種多様な切り口の事業を実施し、子どもの読書奨励を図った。

〇複数の館で実施したクイズラリーは、イベントの楽しみに加えて、図書館サービスを知ってもらうきっかけとなった。

〇学習用端末を活用した神戸市電子図書館「読み放題パック」の提供では、児童の読書利用と、授業での活用等、読書機会の創出と電子図書館の利用促進を併せて検討した。引き続き、利用方法の提案や多彩なコンテンツの提供ができるように進めていきたい。

評　価
A

【図書館協議会の評価・意見】
・多様な子どもサービスを数多く実施してきた点は評価できる。とりわけ、＜乳幼児と保護者向け＞＜児童向け＞のイベント開催数と参加者数は非常に多く、努力を多としたい。
・学校図書館のほかにも市立図書館があり、読書も調べ学習もできることを小中学生に知ってもらい、利用促進に利するイベントとして評価できる。
・２でも指摘したように、これらの事業のアウトカム指標を明確にし、事業効果の検討と、今後も注力すべき事業と見直すべき事業の検討も必要かもしれない。
・学校図書館司書の研修は、市立図書館がもつ司書業務のノウハウやホスピタリティを伝達する上で重要な業務として評価できる。

・子どもサービスを充実させており、A に値する。

・子どもの楽しむ顔が目に浮かぶ計画が多い。読書の苦手な子どもも行きやすい場所であると伝わることだろう。
「読み聞かせびと養成講座」を長年にわたり継続実施していることを高く評価している。活動希望者のボランティアグループへの仲介も、たいへん丁寧で感謝している。しかしながら、即戦力を身に着けた修了生が少ない。受講生が多く対応が難しいのかもしれない。すでに活動している、或いは終了後に活動したいと思っている人に定員を絞ってもよいのではないだろうか。子どもに直接かかわるボランティアを養成する講座として実践的技術についての学びにもさらに力を入れていただきたい。

・「子どもの居場所」を提供した垂水図書館の取り組みは、他館にも広がることを期待する。図書館は読書や学習利用以外にも、子どもたちの拠り所であってほしい。

・電子書籍の拡充は引き続き期待したい。読むことに困難のある子どもも、電子書籍であればテキストにアクセスしやすくなるという利点もある。また、図書館での借り出しに比べて、タブレット端末などを使って自宅で読むことは、抵抗感が少ないという生徒は多いのではないか。特に中高生へ向けた電子書籍の充実、利用の促進を期待したい。

評　価
A